

高層湿原(小花之江河)植生保護柵設置後の植生回復調査

1. 目的

ヤクシカの食害・踏圧から保護することを目的に、平成 29 年 10 月 12 日～13 日に高層湿原(小花之江河)において植生保護柵を設置した。本調査は植生保護柵内の植生の回復状況を把握することを目的に、令和 3 年 8 月 16 日に行った。

植生保護柵 No. 2 は、平成 30 年 9 月にヤクシカのアタックを受けて、平成 31 年 1 月に修復を行った際、柵内のプロット 2-②が柵外となったことから、柵内の代替プロットとして 2-⑤が設置されており、同様の手法で植生回復調査を行った。

2. 調査箇所

調査箇所は図 2-1、図 2-2 に示すとおりである。



図 2-1 調査対象地 (小花之江河)

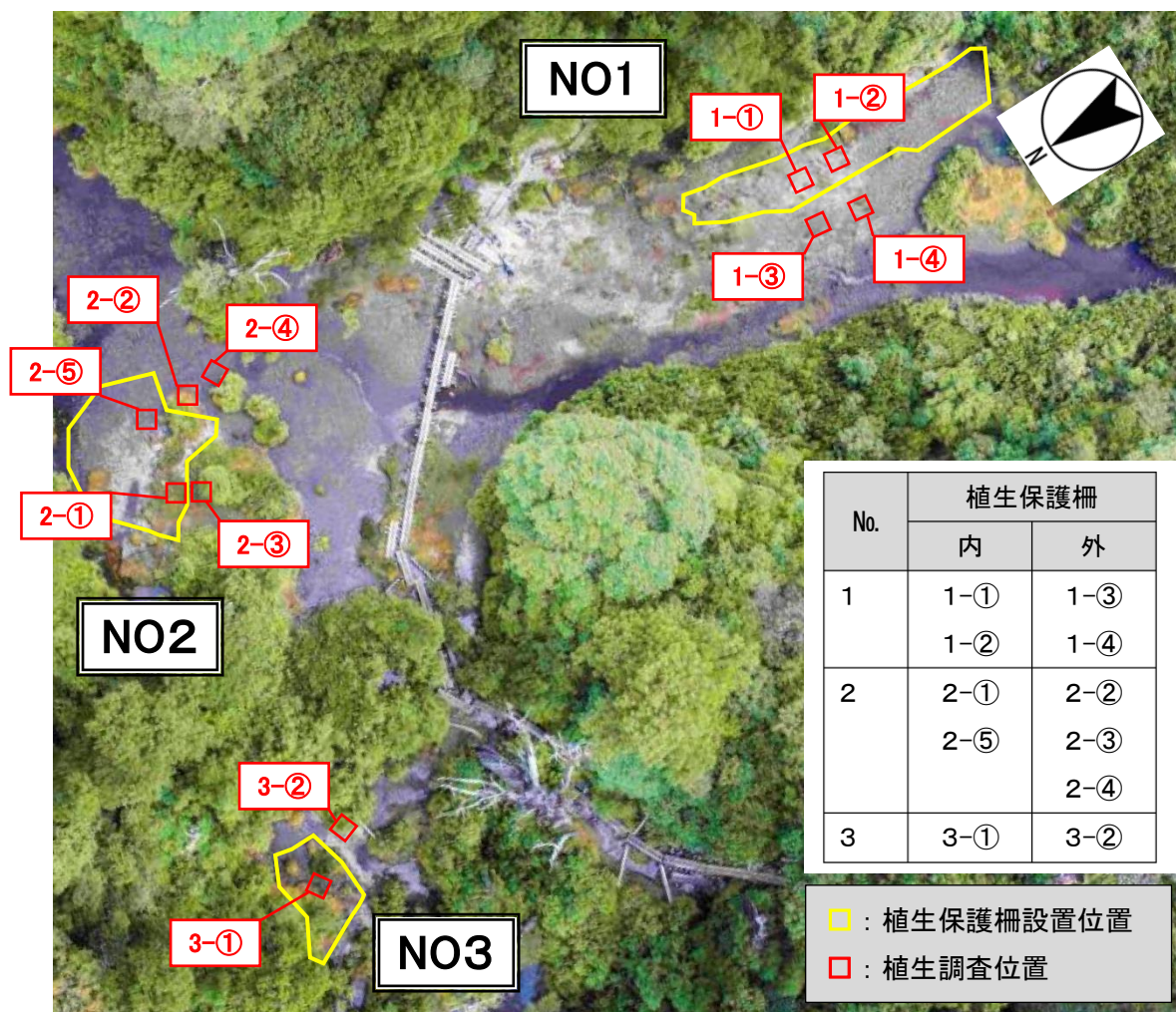


図 2-2 植生保護柵設置位置と植生プロット位置

3. 調査方法

平成 29 年度に設置した植生保護柵内外にある調査プロット（1m×1m）10 箇所、令和元年に新たに設置した植生保護柵内にある調査プロット（1m×1m）1 箇所の合計 11 カ所について、令和 3 年 8 月 16 日に植生調査を実施し、柵内外の植生の回復状況を確認した。

調査は種名及び表 3-1 に示すように種毎の被度・群度について記録した。

表 3-1 優占度と群度

優占度(被度)	群度
r : ごく希に出現。 + : 個体数は少数で被度は非常に低い。 1 : 個体数は少数で被度がやや高い、または多数だが被度は低い。 2 : 被度が 1/10～1/4、又は個体数は非常に多いが被度は 1/10 以下。 3:被度が 1/4～1/2。 4:被度が 1/2～3/4。 5:被度が 3/4 以上。	1:単体で生育。 2:小群状に生育。 3:斑状（まだらに群状）に生育。 4:大群状（カーペット状に穴がある状態）に生育。 5:大群状（カーペット状）に生育

4. 調査結果

現地調査の結果、合計 35 種の植物の生育が確認された。本年度調査を含む、柵設置直後の平成 29 年～令和 3 年度までの調査結果を、表 4-1～表 4-5 に示した。また、プロット別の確認種は、平成 29 年度と比較できるよう表 4-6～4-8 に示した。

4. 1 保護柵 No.1

保護柵 No. 1 はハリコウガイゼキショウを主体とするプロットである。湿原の中でも比較的乾燥したプロット 1-①（柵内）、1-②（柵内）にはコケスマレ、ヤクシマホシクサ等の増加と、新規にアセビ、スギ等の進入が見られ、これまで優占していたハリコウガイゼキショウは減少が見られた。柵内では 1～3 種の増加が見られ、柵で保護されたことにより、スギゴケ、ユミゴケ、コケスマレ等が数を増やし、生育範囲を拡張したと推測される。柵外では 2～5 種の増加が見られ、1-④（柵外）は昨年まで裸地の面積が広がったため、植物の新規参入を可能にしたと考えられる。ハリコウガイゼキショウは元々被度の高くない 1-④（柵外）を除いて、被度・群度の低下が進行した。柵内外ともに種数や他の植物の被度・群度が増加したことによる、植物間の競争の影響を受けた可能性がある。

4. 2 保護柵 No.2

保護柵 No. 2 はハリコウガイゼキショウを主体とするプロットである。柵内で 1～2 種、

柵外で1種ずつ増加が見られた。ハリコウガイゼキショウは、柵内（2-①、2-⑤）で被度・群度が低下し、柵外（2-②、2-③、2-④）では被度・群度に変化は無かった。柵内では、コケスマレ、ヤクシマホシクサ等の被度・群度が増加したことで、特に植物間の競争が激しくなったと推測され、また、昨年度に続きムラサキミミカキグサが開花する等、柵が機能していることが窺える。柵外（2-③）では本年度もヤクシカの糞が確認され、平成30年9月にヤクシカの攻撃を受けて破損した経緯もあり、引き続き警戒が必要である。

4.3 保護柵 No.3

保護柵 No.3 は比較的乾燥し、イボミズゴケが主体のプロットである。3-①（柵内）では、ヤクシマホシクサが2年ぶりに確認され、アリノトウグサ、イソノキ、ヤクシマシャクナゲが進入するなど、これまで最多の合計23種を確認した一方で、一昨年度から記録があったナガバトンボソウが消失する等、植物間の競争が激化している。3-②（柵外）ではイボミズゴケの被度・群度に変化はなく、アセビ、ツゲ、ヤマトフデゴケ、コケ sp.（スギ着生）が進入するなど合計19種を確認した。しかし、消失種との相殺で柵内外とも2種ずつの増加であった。3-①（柵内）、3-②（柵外）の新規参入種4種は樹木の実生であり、これは昨年度の2倍である。アリノトウグサ、ヤクシマホシクサ、ヤクシマママコナは出現と消失を繰り返しており、この状況が恒常的であるのか、荒地への遷移中であるのか、推移を見守る必要がある。イネ科植物では昨年度から、柵内外でヒメカリマタガヤの進入が見られ、本年度はすべての調査プロットで確認された。本種は一年草のため、年変動が激しいと考えられる。花之江河の乾燥気味の箇所に散見されるヤクシマダケの進入は見られなかったため、花之江河ほど乾燥化は進行していないと推測される。

4.4 平成29年度からの推移

平成29年度の植生保護柵設置後最初の調査から本年度までに、柵内外で17種の新規参入種を記録し、柵内外ともに種数は未だ増加傾向にある。種数の増加に伴い、元々被度の高かったハリコウガイゼキショウは昨年度に比べて、さらに減少傾向が見られた。柵内では今後も、増加した植物種間で競争が激化すると考えられる。一方、ハリコウガイゼキショウの次に被度の高かったヤクシマホシクサは本年度、一部の柵内外で増加したプロットもあり、必ずしもハリコウガイゼキショウと同じ推移ではないことが推測される。

調査年度	調査プロット										
	1				2					3	
	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	①	②
	柵内	柵内	柵外	柵外	柵内	柵内→ R1 外	柵外	柵外	R1 新柵内	柵内	柵外
H29 年度 10 月合計種	7	2	6	2	6	3	7	5	—	15	12
R3 年度 8 月合計種	12	10	10	8	15	5	17	5	10	23	19
増減	5	8	4	6	9	2	10	0	—	8	7

表 4-1 平成 29 年度における植生調査の結果

種名	ヤクシカ 好き嫌い	調査プロット									
		1				2				3	
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②
		柵内	柵内	柵外	柵外	柵内	柵内	柵外	柵外	柵内	柵外
アオスゲ	好き					+		+			+
アセビ	嫌い									1・1	+
アリノトウグサ		+		+		+			+		
イトスゲ										+	1・1
イボミズゴケ		1・1		+		1・1	1・1	3・3	1・1	3・3	2・2
キッコウハグマ											+
コケスマレ		1・1		+		1・1		+			
コケリンドウ										+	+
スギ	好き								+	1・1	
スギゴケ		1・1		+						+	1・1
スゲ属								+			
ハリコウガイゼキショウ		4・4	4・4	4・4	2・2	4・4	2・2	3・3	3・3	2・2	1・1
ヒカゲノカズラ	嫌い									2・2	3・3
ヒメカカラ										2・2	
ヒメツルアリドオシ										1・1	
ミヤマビャクシン								+			
モウセンゴケ											+
ヤクシマイバラ										2・2	
ヤクシマコオトギリ		1・1									
ヤクシマススキ										1・1	
ヤクシマホシクサ		1・1	1・1	1・1	1・1	2・2	1・1	2・2	1・1	1・1	1・1
ヤクシマママコナ										1・1	+
ヤクシマミヤマスミレ										+	
合計（種）		7	2	6	2	6	3	7	5	15	12

表 4-2 平成 30 年度における植生調査の結果

種名	ヤクシカ 好き嫌い	調査プロット									
		1				2				3	
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②
		柵内	柵内	柵外	柵外	柵内	柵内	柵外	柵外	柵内	柵外
アセビ	嫌い									1・1	消失
アリノトウグサ		+		消失		消失		+	消失		
イボミズゴケ		1・1		+	+	+	+	2・2	1・1	3・3	2・1
キッコウハグマ											消失
コケスミレ		1・1		1・1		1・1		+		+	+
コケリンドウ										+	+
コハリスゲ										+	消失
スギ	好き							+	+	1・1	2・2
スギゴケ		1・1		+		1・1		+		+	1・1
スゲSp.						消失		+			+
ノギラン						+		+			
ハリコウガイゼキショウ		3・3	4・4	4・4	2・2	3・3	2・2	2・2	2・2	1・1	1・1
ヒカゲノカズラ	嫌い									1・1	2・2
ヒメカカラ										2・2	
ヒメツルアリドオシ										+	
マイヅルソウ										+	
ミヤマビャクシン								+			
モウセンゴケ						+		+		+	+
ヤクシマイバラ										2・2	
ヤクシマコオトギリ		1・1		+							
ヤクシマススキ										1・1	
ヤクシマホシクサ		3・3	2・2	1・2	2・2	1・1	2・2	1・1	1・1	1・1	1・1
ヤクシマママコナ										1・1	1・1
ヤクシマミヤマスミレ										+	
ユミゴケ		2・2		1・1		1・1		+			1・1
リョウブ											+
30年度(8月25日)合計(種)		8	2	7	3	8	3	12	4	18	13
29年度(11月20日)合計(種)		7	2	6	2	6	3	7	5	15	12
増減		1	0	1	1	2	0	5	-1	3	1

グレーの網掛け：平成 30 年度に消失した種

緑の網掛け：平成 30 年度に、調査プロットへ新規に出現した種

赤文字：平成 29 年度と比較して増加または出現した種

青文字：平成 29 年度と比較して減少した種。平成 29 年度の合計値は「平成 29 年度 屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関するモニタリング調査等に係る業務」（九州森林管理局、2017）より抜粋

表 4-3 令和元年度における植生調査の結果

種名	ヤクシカ好き嫌い H24.9 九州森林管	調査プロット										
		1				2					3	
		① 柵内	② 柵内	③ 柵外	④ 柵外	① 柵内	② 柵内→R1外	③ 柵外	④ 柵外	⑤ R1新柵内	① 柵内	② 柵外
アセビ	嫌い										1・1	
アリノトウグサ		消失				+		+				+
イボミズゴケ		1・1		+	+	+	+	1・1	+	+	3・3	2・2
キッコウハグマ												
コケスミレ		1・1	+	1・1		1・1		+	+	+	+	+
コケリンドウ											+	+
コハリスゲ											+	
スギ	新葉は好き					+		+	消失		1・1	2・2
スギゴケ		2・2		+		1・1		1・1			+	1・1
スゲsp.						+		+				+
ナガバトンボソウ											+	
ノギラン	好き					+		+				
ハリコウガイゼキショウ		3・3	5・5	4・4	2・2	3・3	3・3	2・2	2・2	4・4	1・1	1・1
ヒカゲノカズラ	嫌い										1・1	2・2
ヒメカカラ	中										3・3	
ヒメツルアリドオン											+	
マイヅルソウ											+	
ミヤマビャクシン								+				
モウセンゴケ						+		+			+	+
ヤクシマイバラ											2・2	
ヤクシマコオトギリ		1・1	+	+	+		+			+		+
ヤクシマススキ											1・1	
ヤクシマホシクサ		3・3	2・2	1・2	2・2	1・1	2・2	2・2	1・1	2・2	1・1	1・1
ヤクシマママコナ											1・1	消失
ヤクシマミヤマスミレ											+	
ユミゴケ		2・2		1・1		1・1		+				1・1
リョウブ	好き										+	+
R1年度8月22日合計種		7	4	7	4	11	4	12	4	5	20	14
H30年度8月25日合計種		8	2	7	3	8	3	12	4	—	18	13
増減		-1	2	0	1	3	1	0	0	—	2	1

グレーの網掛け：平成 30 年度に消失した種

緑の網掛け：令和元年度に、調査プロットへ新規に出現した種

赤文字：平成 30 年度と比較して増加または出現した種

青文字：平成 30 年度と比較して減少した種。平成 30 年度の合計値は「平成 30 年度 屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関するモニタリング調査等に係る業務」（九州森林管理局、2018）より抜粋

表 4-4 令和 2 年度における植生調査の結果

種名	ヤクシカ 好き嫌い H24.9 九州森林管 嫌い	調査プロット										
		1				2					3	
		① 柵内	② 柵内	③ 柵外	④ 柵外	① 柵内	② 柵内→R1外	③ 柵外	④ 柵外	⑤ R1新柵内	① 柵内	② 柵外
アセビ											1・1	
アリノトウグサ						+		消失				+
イ			+									
イボミズゴケ		2・2	+	+	+	消失	+	1・1	+	+	2・2	2・2
キッコウハグマ												
コケスミレ		2・2	1・1	1・1		1・1		1・1	+	+	+	+
コケリンドウ								+			+	消失
コメススキ		+				+		+		+	+	
スギ						+		+			1・1	2・2
スギゴケ		3・2		+		1・1		1・1			+	1・1
スゲsp.						+		1・1			1・1	1・1
タンナサワフタギ	好き											+
ナガバトンボソウ											+	
ノギラン	好き					+		+				
ハリコウガイゼキショウ		2・3	4・4	4・4	2・2	3・3	3・3	1・1	3・3	4・4	+	+
ヒカゲノカズラ	嫌い										2・2	2・2
ヒメウメバチソウ						+						
ヒメカカラ	中										3・2	+
ヒメカリマタガヤ		1・1	1・1	1・1				+		+	+	+
ヒメツルアリドオシ											+	
マイヅルソウ											+	
ミヤマビャクシン								+				
ムラサキミミカグサ										+		
モウセンゴケ			+			+		+			+	+
ヤクシマイバラ											2・2	
ヤクシマオトギリ		+	+	+	消失	+	+	+		+		+
ヤクシマススキ								+			2・1	
ヤクシマホシクサ		1・1	1・1	+	2・2	+	1・1	+	1・1	2・2	消失	+
ヤクシマママコナ											1・1	+
ヤクシマミヤマスミレ											+	
ユミゴケ		3・2	+	1・1		1・1		+		+		+
リョウブ	好き										+	+
R2年度8月17日合計種		9	9	8	3	13	4	16	4	9	21	17
R1年度8月22日合計種		7	4	7	4	11	4	12	4	5	20	14
増減		2	5	1	-1	2	0	4	0	4	1	3

グレーの網掛け：平成 30 年度に消失した種

緑の網掛け：令和 2 年度に、調査プロットへ新規に出現した種

赤文字：令和元年度と比較して増加または出現した種

青文字：令和元年度と比較して減少した種。令和元年度の合計値は「令和元年度 屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関するモニタリング調査等に係る業務」（九州森林管理局、2019）より抜粋

表 4-5 令和3年度における植生調査の結果

種名	ヤクシカ 好き嫌い H24.9 九 州森林管	調査プロット										
		1				2					3	
		① 柵内	② 柵内	③ 柵外	④ 柵外	① 柵内	② 柵内→R1外	③ 柵外	④ 柵外	⑤ R1新柵内	① 柵内	② 柵外
アセビ	嫌い	1・1				+					1・1	+
アリノトウグサ						+		+			+	消失
イ		1・1	+							+		
イソノキ											+	
イボミズゴケ		2・2	+	+	+		+	1・1	+	+	2・2	2・2
キッコウハグマ												
コケスミレ		2・2	2・2	1・1	1・1	1・1		1・1	+	2・2	+	+
コケリンドウ								消失			+	
コメスキ		+		+		+		+		+	+	
シモフリゴケ						1・1		1・1				1・1
スギ		+				+		+			1・1	2・2
スギゴケ		2・2	1・1	+	+						+	
コケsp.(スギ着生)												+
スゲsp.						+		1・1			+	1・1
タンナサワフタギ	好き											+
ツゲ	嫌い							+				+
ナガバトンボソウ											消失	
ノギラン	好き					+		+				
ハリコウガイゼキショウ		2・2	3・3	4・4	2・2	2・2	3・3	1・1	3・3	3・3	+	1・1
ヒカゲノカズラ	嫌い										1・1	2・2
ヒメウメバチソウ						+						
ヒメカカラ	中										2・2	消失
ヒメカリマタガヤ		1・1	1・1	+	1・1	+	+	1・1	+	2・2	+	1・1
ヒメツルアリドオシ											消失	
マイヅルソウ											+	
ミヤマビャクシン								+				
ムラサキミカキグサ										1・1		
モウセンゴケ			+	+		+		+			+	+
ヤクシマイバラ											2・2	
ヤクシマオトギリ		+	1・1	+	+	+	+	+		+		+
ヤクシマジャクナゲ	嫌い										+	
ヤクシマスキ								+			2・1	+
ヤクシマホシクサ		1・1	2・2	1・1	1・1	+	2・2	+	2・2	3・3	+	+
ヤクシマママコナ											1・1	消失
ヤクシマミヤマスミレ											+	
ヤマトフデゴケ												+
ユミゴケ		2・2	1・1	1・1	1・1	1・1		1・1		+		+
リョウブ	好き										+	+
R3年度8月16日合計種		12	10	10	8	15	5	17	5	10	23	19
R2年度8月17日合計種		9	9	8	3	13	4	16	4	9	21	17
増減		3	1	2	5	2	1	1	1	1	2	2

グレーの網掛け：過去の年度に確認された種のうち、調査プロットから消失した種

緑の網掛け：令和2年度に、調査プロットへ新規に出現した種

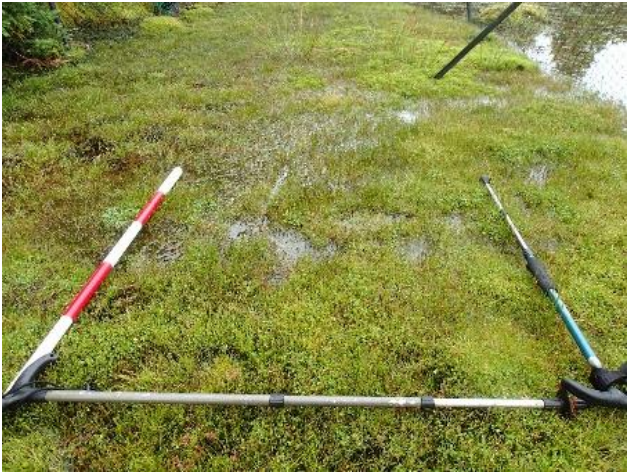
橙の網掛け：令和3年度に、調査プロットへ新規に出現した種

赤文字：令和2年度と比較して増加または出現した種

青文字：令和2年度と比較して減少した種。令和2年度の合計値は「令和2年度 屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関するモニタリング調査等に係る業務」（九州森林管理局、2020）より抜粋

表 4-6 植生調査結果（保護柵 No. 1）H29 年と R3 年の比較

H29 年、1-①【保護柵内】	R3 年、1-①【保護柵内】
	
【植生調査結果：7 種】	【植生調査結果：12 種】
ハリコウガイゼキショウ 4・4	ハリコウガイゼキショウ 2・2
ヤクシマコオトギリ 1・1	ヤクシマコオトギリ +
コケスミレ 1・1	コケスミレ 2・2
スギゴケ 1・1	スギゴケ 2・2
イボミズゴケ 1・1	イボミズゴケ 2・2
ヤクシマホシクサ 1・1	ヤクシマホシクサ 1・1
アリノトウグサ +	ユミゴケ 2・2
	ヒメカリマタガヤ 1・1
	コメススキ +
	アセビ 1・1
	イ（イグサ） 1・1
	スギ +

H29 年、1-②【保護柵内】	R3年、1-②【保護柵内】
	
【植生調査結果：2 種】 ハリコウガイゼキショウ 4・4 ヤクシマホシクサ 1・1	【植生調査結果：10 種】 ハリコウガイゼキショウ 3・3 ヤクシマホシクサ 2・2 コケスミレ 2・2 ヤクシマオトギリ 1・1 ヒメカリマタガヤ 1・1 イボミズゴケ + モウセンゴケ + ユミゴケ 1・1 イ（イグサ） + スギゴケ 1・1

H29 年、1-③【保護柵外】	R3年、1-③【保護柵外】
	
【植生調査結果：6 種】	【植生調査結果：10 種】
ハリコウガイゼキショウ 4・4	ハリコウガイゼキショウ 4・4
ヤクシマホシクサ 4・4	ヤクシマホシクサ 1・1
コケスミレ +	コケスミレ 1・1
アリノトウグサ +	イボミズゴケ +
イボミズゴケ +	スギゴケ +
スギゴケ +	ユミゴケ 1・1
	ヤクシマオトギリ +
	ヒメカリマタガヤ +
	モウセンゴケ +
	コメススキ +

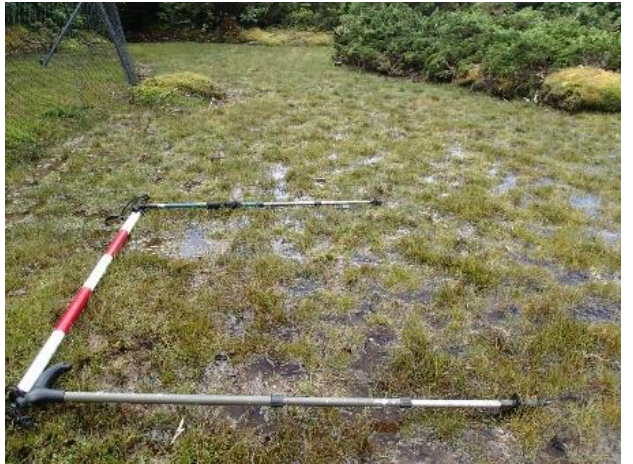
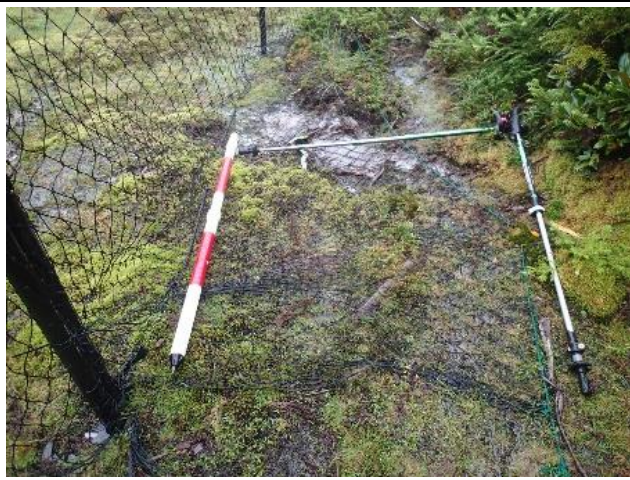
H29 年、1-④【保護柵外】	R3年、1-④【保護柵外】
	
【植生調査結果：2 種】 ハリコウガイゼキショウ 2・2 ヤクシマホシクサ 1・1	【植生調査結果：8 種】 ハリコウガイゼキショウ 2・2 ヤクシマホシクサ 1・1 イボミズゴケ + ヤクシマオトギリ + コケスミレ 1・1 ヒメカリマタガヤ 1・1 ユミゴケ 1・1 スギゴケ +

表 4-7 植生調査結果（保護柵 No.2）

H29 年、2-①【保護柵内】	R3年、2-①【保護柵内】
	
【植生調査結果：6 種】	【植生調査結果：15 種】
ハリコウガイゼキショウ 4・4	ハリコウガイゼキショウ 2・2
ヤクシマホシクサ 2・2	ヤクシマホシクサ +
イボミズゴケ 1・1	コケスマレ 1・1
コケスマレ 1・1	アリノトウグサ +
アリノトウグサ +	スゲ sp. +
アオスゲ +	モウセンゴケ +
	ノギラン +
	シモフリゴケ 1・1
	(スギゴケから種名訂正)
	ユミゴケ 1・1
	スギ +
	ヤクシマオトギリ +
	コメススキ +
	ヒメウメバチソウ +
	ヒメカリマタガヤ +
	アセビ +

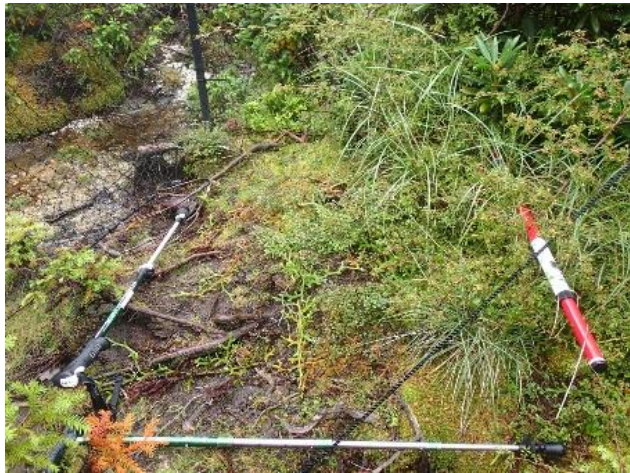
H29 年、2-②【保護柵内】	R3年、2-②【保護柵内→R1 柵外】
	
【植生調査結果：3 種】	【植生調査結果：5 種】
ハリコウガイゼキショウ 2・2	ハリコウガイゼキショウ 3・3
ヤクシマホシクサ 1・1	ヤクシマホシクサ 2・2
イボミズゴケ 1・1	イボミズゴケ +
	ヤクシマオトギリ +
	ヒメカリマタガヤ +

H29 年、2-③【保護柵外】	R3年、2-③【保護柵外】
	
【植生調査結果：7 種】 ハリコウガイゼキショウ 3・3 イボミズゴケ 3・3 ヤクシマホシクサ 2・2 アオスゲ + コケスミレ + ミヤマビャクシン + スゲ属 +	【植生調査結果：17 種】 ハリコウガイゼキショウ 1・1 イボミズゴケ 1・1 ヤクシマホシクサ + コケスミレ 1・1 ミヤマビャクシン + スゲ sp. 1・1 スギ + ユミゴケ + モウセンゴケ + ノギラン + シモフリゴケ 1・1 (スギゴケから種名訂正) ヤクシマオトギリ + ヤクシマススキ + コメススキ + ヒメカリマタガヤ 1・1 コケリンドウ 消失 アリノトウグサ + ツゲ +

H29 年、2-④【保護柵外】	R3年、2-④【保護柵外】
	
【植生調査結果：5 種】	【植生調査結果：5 種】
ハリコウガイゼキショウ 3・3	ハリコウガイゼキショウ 3・3
ヤクシマホシクサ 1・1	ヤクシマホシクサ 2・2
イボミズゴケ 1・1	イボミズゴケ +
スギ +	コケスマレ +
アリノトウグサ +	ヒメカリマタガヤ +

H29 年	R2 年、3-⑤【保護柵内(R1 新規)】																				
なし																					
なし	【植生調査結果：10 種】 <table> <tr> <td>ハリコウガイゼキショウ</td><td>3・3</td></tr> <tr> <td>ヤクシマホシクサ</td><td>3・3</td></tr> <tr> <td>イボミズゴケ</td><td>+</td></tr> <tr> <td>コケスマレ</td><td>2・2</td></tr> <tr> <td>ヤクシマオトギリ</td><td>+</td></tr> <tr> <td>コメススキ</td><td>+</td></tr> <tr> <td>ヒメカリマタガヤ</td><td>2・2</td></tr> <tr> <td>ユミゴケ</td><td>+</td></tr> <tr> <td>ムラサキミミカキグサ</td><td>1・1</td></tr> <tr> <td>イ (イグサ)</td><td>+</td></tr> </table>	ハリコウガイゼキショウ	3・3	ヤクシマホシクサ	3・3	イボミズゴケ	+	コケスマレ	2・2	ヤクシマオトギリ	+	コメススキ	+	ヒメカリマタガヤ	2・2	ユミゴケ	+	ムラサキミミカキグサ	1・1	イ (イグサ)	+
ハリコウガイゼキショウ	3・3																				
ヤクシマホシクサ	3・3																				
イボミズゴケ	+																				
コケスマレ	2・2																				
ヤクシマオトギリ	+																				
コメススキ	+																				
ヒメカリマタガヤ	2・2																				
ユミゴケ	+																				
ムラサキミミカキグサ	1・1																				
イ (イグサ)	+																				

表 4-8 植生調査結果（保護柵 No. 3）

H29 年、3-①【保護柵内】	R3年、3-①【保護柵内】
	
【植生調査結果：15 種】	【植生調査結果：23 種】
イボミズゴケ 3・3	イボミズゴケ 2・2
ヤクシマイバラ 2・2	ヤクシマイバラ 2・2
ヒメカカラ 2・2	ヒメカカラ 2・2
ヒカゲノカズラ 2・2	ヒカゲノカズラ 1・1
ハリコウガイゼキショウ 2・2	ハリコウガイゼキショウ +
アセビ 1・1	アセビ 1・1
ヤクシマススキ 1・1	ヤクシマススキ 2・1
ヒメツルアリドオシ 1・1	ヒメツルアリドオシ 消失
スギ 1・1	スギ 1・1
ヤクシマママコナ 1・1	ヤクシマママコナ 1・1
ヤクシマホシクサ 1・1	コケリンドウ +
コケリンドウ +	スギゴケ +
スギゴケ +	ヤクシマミヤマスミレ +
ヤクシマミヤマスミレ +	モウセンゴケ +
イトスゲ +	マイヅルソウ +
	コケスミレ +
	リョウブ +
	ナガバトンボソウ 消失
	スゲ sp. +
	ヒメカリマタガヤ +
	コメススキ +
	ヤクシマホシクサ +
	アリノトウグサ +
	イソノキ +
	ヤクシマシャクナゲ +

H29 年、3-②【保護柵外】	R3年、3-②【保護柵外】
	
【植生調査結果：12 種】	【植生調査結果：18 種】
ヒカゲノカズラ 3・3	ヒカゲノカズラ 2・2
イボミズゴケ 2・2	イボミズゴケ 2・2
ハリコウガイゼキショウ 1・1	ハリコウガイゼキショウ 1・1
スギゴケ 1・1	シモフリゴケ 1・1
ヤクシマホシクサ 1・1	(スギゴケから種名訂正)
イトスゲ 1・1	ヤクシマホシクサ +
モウセンゴケ +	モウセンゴケ +
アオスゲ +	スゲ sp. 1・1
コケリンドウ +	ヤクシマママコナ 消失
アセビ +	スギ 2・2
ヤクシマママコナ +	リョウブ +
キッコウハグマ +	コケスマレ +
	ユミゴケ +
	ヤクシマオトギリ +
	アリノトウグサ 消失
	ヒメカカラ 消失
	タンナサワフタギ +
	ヒメカリマタガヤ 1・1
	ツゲ +
	ヤマトフデゴケ +
	コケ sp. (スギ着生) +
	アセビ +